

【UNIX 基本コマンドの解説】

RAINBOW ガイド-UNIX 操作入門編- p.16 表 5

このほかのコマンド : cal, history, date, ps, 入出力のリダイレクション

【ディレクトリの作成とディレクトリ間の移動】

- (1) 下のような、ディレクトリの構造を作り、前回作った Fortran のプログラムソースファイル wasa.f および実行ファイル wasa を新しく作った 030507 の下に移動する .

使うコマンド : % mkdir , % cd , % mv (間違えた場合は % rm , % rmdir も必要)

コマンド : { }

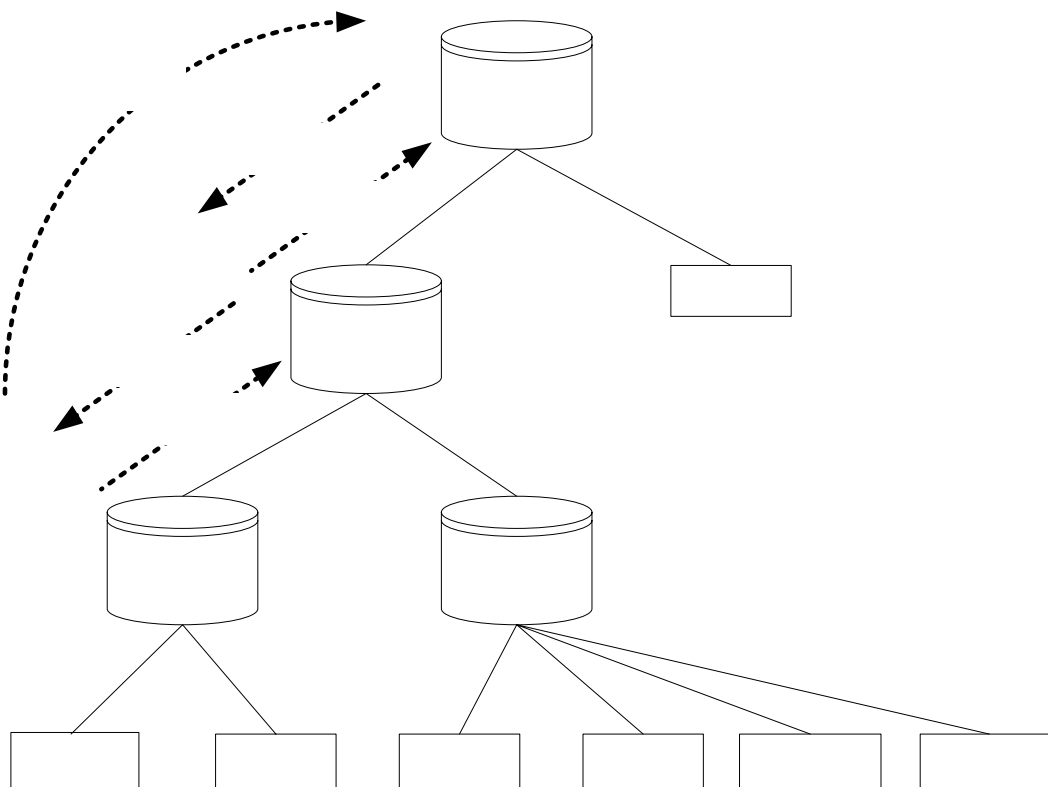
コマンド : { }

コマンド : { }

コマンド : { }

コマンド : { }

- (2) %cd で自分のホームディレクトリに移って %ls -R で下記の構造ができたか確認する .



【emacs 基本コマンドの解説】

RAINBOW ガイド-UNIX 操作入門編- p.65 表 17

【emacs とファイルの連結練習】

- (1) name.txt というファイルを作り、自分の名前を記入する .

- (2) address.txt というファイルをつくり，自分のメールアドレスを記入する．
- (3) phone.txt というファイルをつくり，自分の電話番号を記入する．
- (4) 上記 3 つのファイルをまとめて，profile.txt というファイルを作る．
(% cat ファイル名 >> profile.txt というコマンドを使用)
- (5) profile.txt を emacs で開いてメールアドレスが記入してある行を電話番号が記入してある行の後に持ってくる．
- (6) profile.txt のコピーを profile.bck という名前でバックアップを取っておく．
コマンド：{ }
- (7) cal 2000 > profile.txt として，profile.txt がどうなったかを cat で確認する．
- (8) 2000 年から 2002 年までのカレンダーを profile.txt にまとめて cat と more の 2 種類の方法でファイルの内容を確認する．
- (9) profile.txt を消して，バックアップファイルとしてとってあった profile.bck を profile.txt という名前に変更する
コマンド：{ }
コマンド：{ }
- (10) オンラインマニュアル表示コマンド % man で ls の使い方を表示する．

【前回の Fortran プログラムの解説】

C ← コメント行

```

C { }
      PROGRAM WASA
C { }
      REAL  A , B , WA , SA
C { }
      READ ( * , * ) A , B
C { }
      WA = A + B
      SA = A - B
C { }
      WRITE ( * , * ) A , B , WA , SA
C { }
      STOP
C { }
      END

```

【自習】

ディレクトリ Info/030514 の下に homework というディレクトリを作って，下記のようなプログラムを作って，コンパイルし実行する．

- (1) 三角形の底辺と高さを入力して面積を求める．プログラム名 triangle.f
- (2) 円の半径を入力して円周の長さと，面積をもとめる．プログラム名 circle.f